

船舶事故等調査報告書

平成25年11月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013広第96号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成24年9月4日 07時55分ごろ
発生場所	岡山県岡山市岡山水道 岡山市所在の西大寺港九幡東1号防波堤灯台から真方位247° 630m付近 (概位 北緯34° 36.1′ 東経134° 01.5′)
事故等調査の経過	平成25年6月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 第参祐徳丸、403トン
船舶番号、船舶所有者等	135501、株式会社祐徳汽船
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	船底外板に擦過傷、プロペラに破損
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、鉄鉱石約1,008tを積載して船首約2.90m、船尾約4.05mの喫水となり、船長が単独の船橋当直に就き、約8.2ノットの対地速力で岡山水道を西進中、平成24年9月4日07時55分ごろ浅所に乗り揚げた。 船長は、エンジン音の変化及び速力の低下に気付いて直ちに点検を行ったが、浸水などはなかったため、航行を続け、岡山市岡山港に入港した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 1、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の初期、潮高 約58cm
その他の事項	本船は、レーダー及びGPSプロッターを備えており、本事故当時、GPSプロッターを使用していた。 船長は、岡山港に1回入港した経験があり、本事故前に代理店から入手した資料で浅所があることを知っていた。 船長は、本事故後、思っていたより水深が浅かったと思った。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、岡山水道を西進中、船長が浅所に接近していることに気付かず航行したこと、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、岡山水道を西進中、船長が浅所に接近している

	ことに気付かずに航行したため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・浅所が存在する場所では、慎重に操船すること。